

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	やんばる地域国立公園指定推進調査費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～平成23年度		担当課室	国立公園課		課長 桂川 裕樹	
会計区分	一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010第1部第4章第2節3			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>ヤンバルクイナに代表される多くの希少固有生物種を育む亜熱帯の照葉樹林を中心に新たな国立公園を指定し、ひいては世界自然遺産登録を目指す。このため、これらの生物多様性の豊かな地域を保全し、その自然環境を持続可能な形で利用していく、新しいタイプの国立公園の指定を推進し、これに必要となるやんばる地域における生物多様性の保全と利用のあり方を検討する。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>米軍訓練場の返還後速やかにやんばる地域における新たな国立公園の指定を達成し、貴重な生物多様性の保全と地域振興を推進することを目標に、やんばる地域における国立公園の指定のための調査として、①やんばる国立公園(仮称)の公園計画、施設計画、利用計画等の作成、②これらの各種計画策定のための基礎となる調査、検討、評価、③住民や林業者など広範な関係者の合意形成の推進を行う。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	6	6	6	-	-
		繰越し等	0	0	0	-	-
		計	6	6	6	-	-
	執行額	6	6	5	-	-	
	執行率(%)	97	98	74	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	<p>新たな国立公園の指定に向け、やんばる地域における生物多様性の保全と利用の質的向上を図るとともに、国立公園指定に向けた合意形成を進める。</p> <p>国立公園の指定、保全手法、利用のあり方について、関係者との調整を図りながら機運を醸成して合意形成を進めるものであるため、定量的な目標は設定できない。</p>	成果実績	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	<p>新たな国立公園の指定に向け、奄美地域における生物多様性の保全と利用の質的向上を図る調査であるため、定量的事業箇所や件数を示すことができない。</p>	活動実績(当初見込み)	-	(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	やんばる地域は国民の関心が高い希少種が生息するなど自然体験やエコツーリズムに適した自然性が高い照葉樹林を中心として国立公園に指定し、保全するものであり、優先度が高い。また、国立公園の指定は自然公園法に基づき環境大臣が行うものであり、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札(総合評価落札方式)により競争性を確保した支出先の選定を行い、委託清算手続きの中で、資金の流れや費目や使途の真に必要なものへの限定も十分行われていることを確認した。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業に基づく国立公園における生物多様性保全のあり方や生物多様性と特有の文化を感じることができる利用のあり方の検討を通じて、国立公園指定に向けた地域の合意形成が進みつつある。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	やんばる地域の国立公園指定に向け、公園区域及び規制計画の素案等を作成し地域の合意形成を得るといった一定の成果を得たが、生物多様性保全に資する生業のあり方や米軍基地返還問題等もあるため、昨年度の予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、平成24年度事業については見送ることとし廃止とした。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	当該事業については平成23年度限りで廃止。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	平成23年度限りで廃止。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	311	平成23年行政事業レビュー	194

環境省
5百万円

(配分)

九州地方環境事務所	
○支出先の種類	地方支分部局
○支出先の件数	1件
○総支出額	5百万円

(一般競争入札等)

A.民間事業者等	
○支出先の種類	民間会社、公益法人
○支出先の件数	7件
○総支出額	5百万円

やんばる地域の亜熱帯照葉樹林を中心とする自然環境の保全方針を検討する調査等を実施

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているか  
 について補足  
 する) (単  
 位: 百万円)

A.いであ(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	主任技師等	3			
その他	旅費、謝金、印刷代等	1			
計		4	計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

## 支出先上位10者リスト

### A.九州地方環境事務所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	やんばる地域の亜熱帯照葉樹林を中心とする自然環境の保全方針検討調査業務	4	2	67.2
2	やんばる国頭の森を守り活かす連絡協議会	やんばる地域の亜熱帯照葉樹林における林道パトロール検討業務	0.3	少額随意契約	—
3	文進印刷(株)	やんばる地域の国立公園指定推進に係る印刷業務	0.08	少額随意契約	—
4	文進印刷(株)	やんばる地域の国立公園指定推進に係る印刷業務	0.08	少額随意契約	—
5	(株)平山印刷	やんばる地域の国立公園指定推進に係る印刷業務	0.08	少額随意契約	—
6	(財)日本地図センター	やんばる地域の国立公園指定推進に係る地図購入業務	0.01	少額随意契約	—
7	(有)球陽堂書房	やんばる地域の国立公園指定推進に係る図書購入業務	0.01	少額随意契約	—